



団体コード:104256

22. 嬭恋村  
つまごいむら

〒377-1692 吾妻郡嬭恋村大字大前110番地

TEL 0279-96-0511

役場まで:JR万座・鹿沢口駅車10分

FAX 0279-96-0516

JR大前駅徒歩5分

村長 熊川 栄  
期数 4 任期 R5.4.30  
副村長 加藤 康治

村制施行日 明治22年4月1日 面積 337.58 km<sup>2</sup>

H P <https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/>

E-mail [soumu@vill.tsumagoi.gunma.jp](mailto:soumu@vill.tsumagoi.gunma.jp)

議長 土屋 幸雄 (議員任期R5.4.30)

花:リンドウ 木:シラカバ 鳥:-

キャッチフレーズ:「高原に抱かれた美しい希望の里 嬭恋村」

【市町村のあらまし】

嬭恋村は群馬県の北西部に位置し、東は長野原町・草津町に、西・南・北の三方は長野県に接している。村の東部を除く外周には、浅間山・湯の丸山・四阿山・白根山などの標高2,000m級の山々が連なり、太平洋側と日本海側の分水嶺をなしている。村の中央部を西から東に吾妻川が流れ、集落の大部分はこの流域に散在している。地質は火山灰土の腐食土壌が多く高原野菜の適地となっている。気候は高原地帯だけに夏でも涼しく、年間の平均気温は8 前後で、一日の温度差が大きいのが特徴である。特に気温・湿度は避暑に最適であり、軽井沢にもまさる避暑地であることから、浅間高原一帯が大別荘地として脚光を浴びている。

【産業・経済】

嬭恋村は、キャベツをはじめとする全国有数の高原野菜の産地であり、安心安全な野菜作りのため、環境保全型農業の推進、土壌管理や輪作体系の確立など、品質の維持・向上に努めている。また、万座温泉、鹿沢・新鹿沢温泉等を有する観光の村として、年間約200万人の観光客が訪れる。このため、観光の村として整備を進め、観光客の誘致と観光産業の充実のためのイベントを開催している。

【観光施設・公共施設等】

- ・浅間高原シャクナゲ園
- ・湖畔の湯(日帰り温泉施設)
- ・嬭恋郷土資料館
- ・愛妻の丘

【名勝・旧跡】

- ・鬼押出し
- ・大笹関所跡
- ・今井東平遺跡

【文化財】

- ・黒色磨研注口土器2点(県指定重要文化財)
- ・浅間山熔岩樹型(国指定特別天然記念物)
- ・天明三年浅間やけ遺跡(県指定史跡)
- ・湯の丸レンゲツツジ群落(国指定天然記念物)
- ・鳴尾の熊野神社大杉(県指定天然記念物)

【伝統行事・伝統芸能】

- ・鎌原神社獅子舞(4月・9月)
- ・大前神社獅子舞(5月)
- ・大笹神社獅子舞(9月)
- ・鬼太鼓
- ・どんど焼き(1月14・15日)

【祭り・イベント等】(R3.9.1現在)

- ・嬭恋村安市(三原商店街:4月・中止)
- ・嬭恋高原キャベツマラソン(7月・中止)
- ・つまごい祭り(東部小学校:7月・中止)
- ・キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ(9月・中止)
- ・嬭恋村文化祭(東部小学校:11月・中止)

【特産品・名物】

高原野菜、山菜、淡水魚

【国勢調査人口】

区分		H17.10.1	H22.10.1	H27.10.1
人口	男	5,499	5,184	5,063
	女	5,359	4,999	4,717
	計	10,858	10,183	9,780
世帯数		3,748	3,651	3,664
構成比	15歳未満	14.0 %	11.9 %	10.9 %
	15～64歳	60.9 %	59.6 %	57.2 %
	65歳以上	25.1 %	28.5 %	32.0 %

【人口及び有権者数】

区分	人口	有権者
男	4,804	4,044
女	4,614	4,044
計	9,418	8,088
世帯数		3,909 世帯

人口及び世帯数は住民基本台帳(R3.1.1現在)に基づく数値である。  
有権者はR3.6月登録日現在の選挙人名簿登録者数である。

**【令和2年度土地利用の状況】**

農地	13.2 %	4,461 ha
宅地	1.3 %	445 ha
山林	15.2 %	5,142 ha
その他	70.2 %	23,710 ha

**【産業別就業者数】** (H27国調)

区分	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数 (分類不能含)
就業者(人)	1,880	578	3,227	5,688
構成比(%)	33.1	10.2	56.8	100.0

**【普通会計予算規模】** (単位:百万円)

年度	当初予算額	増減率
1	6,769	11.4 %
2	7,799	15.2 %
3	7,633	2.1 %

**【議会議員】**

条例定数 : 12 人 現員数 : 12 人 (R3.5.1現在)

**【職員数】** (R3.4.1現在)

一般行政	教育	消防	公営企業等	合計
88 人	29 人	0 人	16 人	133 人

**【令和2年度の主な施策・事業】** (単位:百万円)

新型コロナウイルス感染症対策事業	345
公共土木施設災害復旧事業	319
村道維持・新設改良事業	223
スクールバス運営事業	147
中学校管理事業	139
文教施設災害復旧事業	100
橋りょう整備事業	58

**【令和3年度の主な施策・事業】** (単位:百万円)

村道維持・新設改良事業	423
公共土木施設災害復旧事業	399
農業基盤整備事業	264
橋りょう整備事業	206
スクールバス運営事業	169
新型コロナウイルス感染症対策事業	111
消防施設整備事業	111

**【特色ある施策・事業等】**

- シャクナゲ園整備による観光客誘致
- 高原野菜消費宣伝による販売促進
- 環境保全型農業の推進
- 「愛妻家の聖地」としての地域活性化
- キャベツマラソンの実施
- ジオパークを活用した地域産業の振興
- 上田地域定住自立圏域による広域連携
- 公共交通対策(タクシー利用助成)
- 大学等と連携した農業と観光を基軸にした地域づくり

**【今後の主要課題及び目標等】**

- 『**「孀恋村まち・ひと・しごと創生総合戦略」**』
- 基幹産業の効率化や高付加価値化
  - 若い世代が安心して働ける環境の創出
  - 観光・交流の推進、空き家の活用等によるUIターン促進
  - ふるさと納税等の活用による関係人口の増加
  - 自治体・大学・企業等との交流深化による魅力度の向上
  - 結婚・出産・子育てのための環境整備や多面的な支援
  - 健康づくりの推進及び地域福祉の充実
  - 地域における活動支援の充実

**【組織機構】**

